

した時にかぶせる歯です。材質は一般的な銀歯のようなものからプラスチック、さらにはセラミックなどいろいろなあります。つまり、歯を抜いた後に差し歯はできないんですよ。

逆に、根がしっかりしていれば頭の部分がまったくなくてもしっかりとした歯が入れられます。頭の部分がほとんどなくなってしまう、悲観されて来院する方もおられますが、頭の大きさと抜歯の根拠とはあまり関係ありません（もちろん頭の部分が大きいのは有利ですよ）。それよりも残っている根の状態の方が重要です。何といっても土台（基礎）なのですから。

昨年からマンションの構造偽造事件が取りざたされましたが、歯医者もまったく同じなんです。根がしっかりしていないのに差し歯を作った

ら歯が揺れてしまうなどということもあります。どんな世界も同じですね。基礎は大切です。

### 乾燥シーズン到来

今年も秋の訪れとともに口の中が乾くという方が増えてきました。先月の中頃、それまで入れ歯を順調に使っていたのに痛みが出てきたという方が来院されました。もちろん入れ歯が変形したなどということではありません。お口の中が乾燥し、摩擦ですり傷ができてしまったのです。実は、入れ歯にとって口腔乾燥は大敵です。つばによって入れ歯が吸い付いたり、傷つかないようにになっているのですから。

このような乾燥シーズンは来年春まで続いていきます。最近では若い人でも口腔乾燥が多いのですが、高齢

の方にとっては深刻です。前述の入れ歯のトラブルだけでなく、肺炎のリスクも高くなるからです。

このような口腔乾燥に対し、保湿剤が売られるようになり有効に使われています。しかし、それらは原因を除去するわけではありません。

先日、入れ歯が調子悪く来院された方がいました。口の中を観察すると乾燥もひどく、歯ぐき全体が荒れていました。しかも噛むと痛いという訴え。とにかくしっかり入れ歯の調整を行ないました。その次の診療日、「先生、痛くなく、しっかり噛めるようになった」と言ってくれました。お口の中を見てみると十分に潤い、歯ぐきはきれいなピンク色。しっかり噛めればつばが出て良い環境になるんですよ。